

御殿場

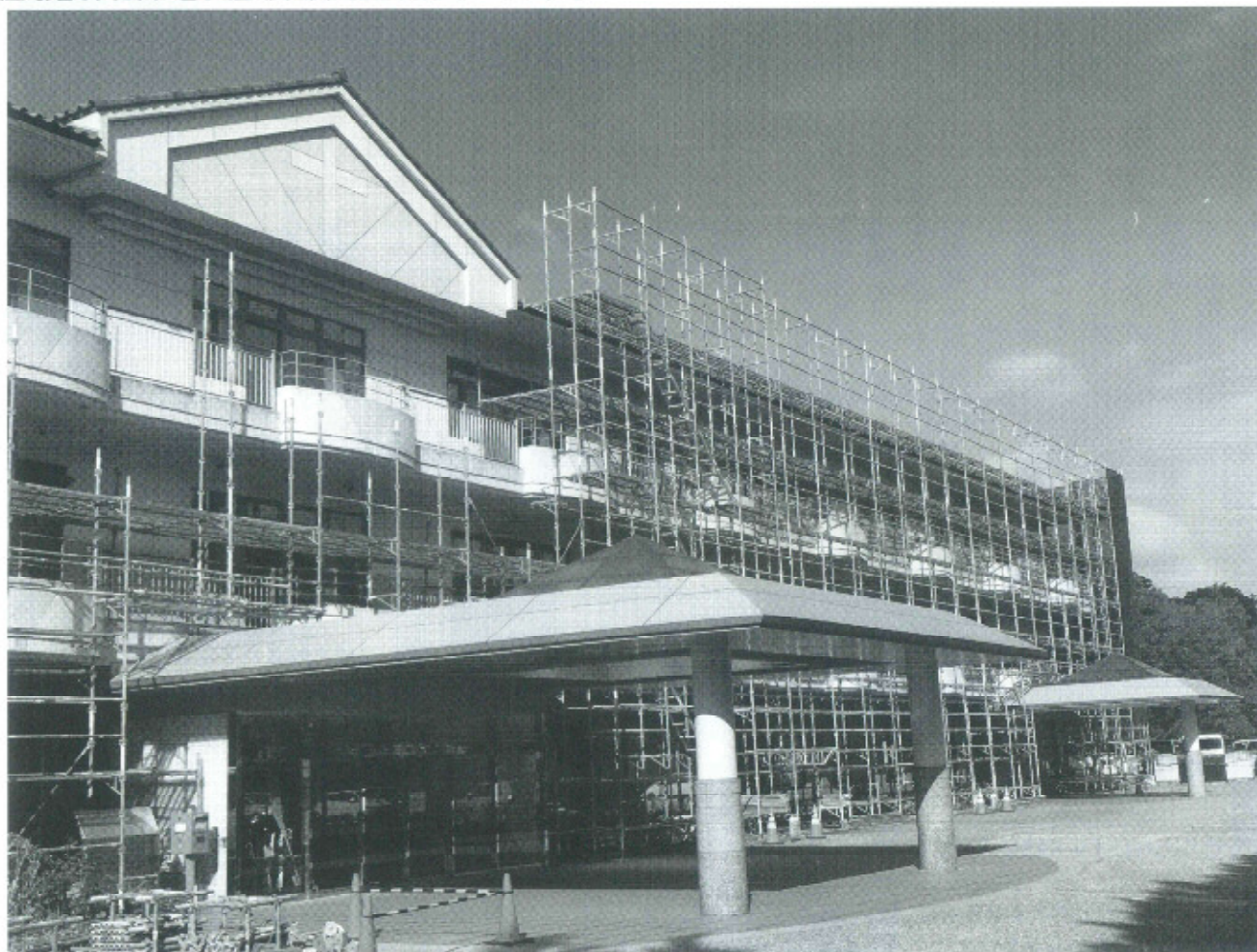
# 十字の園

（題字 鈴木生二）

発行／総合福祉施設  
御殿場十字の園  
施設長 高橋雅昭  
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1  
TEL 0550-83-1999  
FAX 0550-82-5189  
<http://www.jyuji.ne.jp>  
e-mail: info@g.jyuji.or.jp  
印刷／大和印刷株式会社

2020  
No.222

〔聖句〕喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい（ローマ12:15）



2020年04月20日～11月20日 御殿場十字の園 本館・アドナイ館外壁等補修工事

イルド

理事長 鈴木 淳司

愛は忍び耐える

右記を表題とした鈴木唯男氏（初代理事長の兄）の本は、当時不治の病であった結核療養の記録である。そこには死と隣り合わせの生活が描かれ、与えられる一日の意味は違っていた。「今日一日を悔いなく生きる事を望めば望む程、肉体を持って生きる身は、御霊の力を受けて自分の肉と体の行いに打ち勝つように導かれなければ」と患者も働く人も毎日の糧を求めた。「この療養生活がまず礼拝から始まったのである。肉体の糧の前にまず心の糧が配られたのである。心の糧によって満たされ、姿勢を整えて、今日与えられる生命を大切に生きる苦しみの中で恵みを味わおうと願ったのである。」そこには、「その日々の生活の中に、喜びを見出すことができ、喜びを分かち合うことを可能にしてくれる不思議な力が漂っていた。」

十字の園では今も礼拝が大切にされています。

# 受け継ぐ

御殿場十字の園施設長 高橋 雅昭

今年四月より前任の宮島施設長の異動に伴い御殿場十字の園の施設長をさせていただきましたことになりました。高橋雅昭と申します。よろしくお願ひいたします。

御殿場十字の園は御殿場の地で事業を始めてから来年で五十年を迎えます。そこで改めて事業を始めたころを振り返ると、広報誌を読み直してみました。

御殿場十字の園設立のきっかけは小山町立老人ホームの元施設長でした。勝又敏行氏が、十字の園の当時理事長でした鈴木生二理事長に御殿場市の高齢者の現状を話され、御殿場に特別養護老人ホームを建設してほしいというところから始まります。当時御殿場は寒さのために寝たきりのお年寄りが多いこと、そのためには御殿場に特別養護老人ホームのニーズが大きいこと、鈴木理事長の「教会を中心にキリスト教主義による施設を創設したい」

という意見が一致し設立への意向が高まっていききました。その後鈴木理事長はその相談を受けて御殿場教会に相談します。

「主が家を建てるのでなければ、建てる者の勤労はむなし。主が町を守られるのでなければ、守るものさめているのはむなし」(詩編第一二七編)

当時の御殿場教会の岡本明夫牧師は機関誌の創刊号で御殿場十字の設立についてのいきさつを書かれています。

こうして昭和四十六年御殿場十字の園は事業を開始します。静岡県東部では二番目の特別養護老人ホームです。その頃の高齢化率は七・二パーセントでした。当時の制度では老人福祉法が昭和三十六年に制定され、その後平成十二年には介護保険法が制定され、現在の御殿場市の高齢化率は二十三・二パーセントと、高齢者を取り巻く環境は大きく様

## 新職員紹介

ひまわり

**成川 英直**

入居されている皆さんと楽しい生活を送れるように努力していきたいと思ひます。



三階寮棟

**下田 妃菜子**

私は入居されているみなさんと信頼関係を築いていけるよう努めていきます。



かなりあ

**村上 こずえ**

昨年九月に十字の園に入社しました。まだ分からない事もありますが、よろしくお願ひします。



居宅介護支援

**西田 朋美**

その方との出会いに感謝し関わりを大切にしていきたいと思ひます。



二階こすもす

**野木 将平**

入居されている皆さんが笑顔になれるように頑張っていきます。



二階特養

**竹内 雄祐**

一生懸命に頑張っ、入居されている方々の思ひをしっかりと受け止め考えられるように努めます。



機能訓練指導員

**渡邊 聡洋**

皆さんの機能が落ちないようお手伝いさせていただきます。



変わりにしてあります。そのよ  
うな中でも今から五十年も  
前に地域が必要としていた  
特別養護老人ホームを設立  
するという御殿場十字の園  
に開いた方たちの想い、  
またその後今日まで事業に  
関わった方たちの想いもこ  
れからの御殿場十字の園に  
向けて受け継いだものをつ  
ないでいきたいと思えます。

## 新型コロナウイルス について

現在世界中で新型コロナウイルス  
ウィルスが猛威を振るい多  
くの方が感染し、また多く  
の方が亡くなっています。  
御殿場十字の園では施設内  
にウィルスが入り込むこと  
を防ぐために全力を尽くし  
ています。具体的には施設  
入所者への面会の制限、定  
期的な感染症対策会議、ご  
家族への通知文書の配布等  
による協力の依頼、職員へ  
の感染防止への取組への徹  
底など、常に最新の情報を  
入手しながら対策を講じて  
いる次第です。

三月より継続してきまし  
た面会制限ですが、利用者  
の命を守るということでは

継続してまいりました。しか  
しながら面会制限が長期に  
渡り、ご家族より「会いた  
い」という切実な声などが  
聞かれることを受けまして、  
五月よりオンライン面会を  
開始いたしました。具体的  
な方法については5ページ  
に記載させていただいてい  
ますが、パソコンやスマー  
トフォンを通じてお顔を見  
ることができたりお話がで  
きるといった方法を行って  
います。また、緊急事態宣言  
の解除を受けまして、施設  
の入り口付近で感染予防に  
最大限注意を払いながら利  
用者ご本人と実際会うこと  
ができる方法もいま準備し  
ております。



先の見えない長い闘いに  
なることが予想されます。  
繰り返すにようになりますが当  
施設としては施設での感  
染者の発生を防ぐと共に、  
利用者の方とご家族とのつ  
ながりを大切にしていきたい  
と思えます。

# 新型コロナウイルス

看護室 杉山 潔

新型コロナウイルスが全世界で猛威を  
振るい、ほぼ日本全国で感染が確認され  
ています。御殿場での感染者は四月二十  
一日現在確認されていませんが、いつ  
自分たちが感染してもおかしくない状況  
です。

御殿場十字の園では、臨時感染症対策  
委員会を行い決め事や、再確認を行って  
います。

現在行っている事は、厚生労働省老健  
局の対応に従っています。

● 出勤前の体温、発熱や呼吸症状  
のチェック

● できるだけ家で過ごし、外出す  
る際は三密をさける

● ウィルス高発生地域には出来る  
だけ行かない

● マスク、手洗い(アルコール消毒)

● 環境整備

● 面会制限

● などを行っていますが、状況  
により対応、対策を変えてい  
きます。

● また、利用者への対応とし  
て主な事は、利用者の感染が  
疑われた場合は

● 個室に移動、個室が  
足りない場合は同じ症  
状の人と同室にする

● 介護前後の手洗い

● 居室の消毒は、エタノール  
又はハイター  
● 発熱や症状が継続する場合、保  
健所に相談する  
となっています。

濃厚接触が疑われる職員の対応として  
は、症状がある場合、自宅待機し保健所  
の指示に従う。症状がない場合はマスク、  
手袋の着用を徹底したうえで直接的な介  
護を避けるなどの対応となりますが、状  
況に感じ変わっていくと思えます。

このウィルスとの戦いは長い時間がか  
かると思えます。身体、精神的にも、大  
きなダメージが伴いますがワクワクンや治  
療薬が開発され、終わりが来ると思いま  
すので全員でこの困難を乗り越えていき  
たいと思えます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

### 「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

<p>他の人と十分な距離を取ろう!</p>	<p>窓やドアを開けこまめに換気!</p>
<p>屋外でも密集するような運動は避けよう! ●人数の多い公園やイベントには参加しない</p>	<p>自由席でも感染を避けよう! ●多人での飲食は避ける ●席と席の間に座る ●長い行列に並ぶ</p>
<p>会話をするときはマスクをつけよう! 5分間の会話1回の咳と同じ</p>	<p>電車やエレベーターでは会話を慎みましょう!</p>

出典：首相官邸HPより

御殿場十字の園 0120-565653

## 特養トピックス



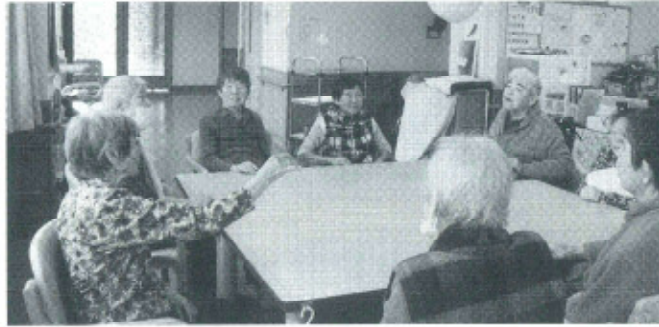
日に日に陽気が暖かくなり「今日もいいお天気だね」と外を見ている

2階  
**ひまわり** ★春が来た

猪越美穂



と、美味しいものを食べに、きれいな花でも見に行きたいと思いますが、世の中は自粛ムードです。そんな中でも春を感じる出来事が。中庭のチューリップが満開でした。外は空気がおいしくて、「赤、白、黄色♪」とついつい口ずさんでしまいますね。色とりどりのチューリップを眺めながら、新型コロナウイルスが収束したらどこに行きたいか、何を食べようか考えて今はみんなです。



3階寮棟  
**ひばり**

★レクリエーションで  
元気な身体づくり 土屋俊樹

新型コロナウイルスの影響もあり、外出支援もできない状態です。そんな中でも皆さんで元気に風船バレーなどのレクリエーションを行い、楽しみつつ元気な身体づくりをしています。歩行訓練をして身体を動かしている方もいます。レクリエーションを行った後は、手指消毒や周辺環境の消毒も徹底して行っています。白ら消毒をして下さる方もいらつしやいます。また外出支援で楽しい思い出を作る為に、身体を動かして元気に今を乗り切つていきましよう。



## ケアハウス

### 小さな喜び

御殿場アドナイ館 武山 幸浩



冬も去り、ようやく暖かくなってきたというのに、今年の春は何処へも行けず『コロナウイルス』という脅威に怯えるばかりです。本来であれば四月はお花見、五月はドライブ外出とイベントも多い時期だというのに今回はイベントも中止、又は延期となり、皆さんも必要最低限の外出で、居室で日々過ごされています。唯一明るい話題としては、ケアハウスの前に咲く大きな枝垂れ桜が今年も満開を迎えました。あくまでも、近隣の方の敷地の桜ですが、見事な枝ぶりで毎年ケアハウスの方々だけでなく、この道を散歩する皆さんには楽しみの一つだと思えます。今回のコロナ騒動で、今迄忘れていた小さな喜びを再発見することが出来たと思えます。

## 新しい面会様式での発見

オンライン面会を取り入れて

寮棟課長 高木直也

私共施設に入居されている皆さんの感染予防のため、面会制限の協力をいただいております。出来得る限りの安全策を講じておりますが、直接会えないは寂しさと孤独感を生みます。「この面会制限下にできる限りの方策を」と、オンライン面会（テレワークシステム）を取り入れ環境を整えて試験的に運用を開始しました。画面の向こうとこちらでお互いに涙を流して喜ぶ姿に、会うことのできなかつた寂しさがどれほどのものであったか面会の大切さを教えられました。

また新たな発見もありました。画面の向こう側の何年も会っていないお孫さんの成長に驚き、遠方家族との懐かしい再会に喜び、画面上での家族会など、オンラインならではの可能性に希望も生まれましたが、手に触れ生の声でお互いにやり取りする事ができないもどかしさ、小さな平面ディスプレイを介しての味気無さを痛感したのも事実です。いずれにせよテレワークシステムを用いての対応が可能であることがわかりました。

今後の社会状況を見極めつつ段階的に来園・面会が再開できるよう準備していききたいと思えます。

## 在宅トピックス

## ショートステイにすもすも

◎フロアの壁画

宮地秀明

ショートステイでは、皆さんと一緒にフロアの壁画を手作りしています。職員が下書きを書き、多彩な種類の色を持つている五色鶴のお花紙を貼って頂きます。色の変わり目の箇所では紙を細かくして色彩の違いがより分かるように工夫をしています。作品が大きくなれば、その分使う紙も多くなるので細かくちぎる作業が大変になってしまいますが、皆で和気あいあいと作っています。季節に合わせて、また元号が変われば「令和」を、新年になれば「富士山」を。五月の季節は「鯉のぼり」を作成しました。季節感を大切にし、四季の移り変わりを楽しんで頂けるようなフロアの飾りつけを、これからも皆さんと一緒に作っていききたいと思えます。



## ふじがへら ◎桜ドライブ

横川明美

今年は桜の開花が早く待ちに待った桜が見頃を迎えています。そんなポカポカ陽気の日の午後、桜を見るドライブに出掛けました。

車中より見渡せば桜・桜・桜!! 東山の通りの桜並木は満開のトンネルです。余りの美しさに笑顔もほころび、桜の話題で会話もはずんでいました。

最後に行った富士霊園では見学の最後に記念写真をパチリ! 皆さん本当にいい笑顔です。

デイサービスに戻ってからは「キレイだったねー。また連れて行ってよ」と、次の外出を心待ちにしているようでした。



## 協力ボランティア

敬称は略させていただきます

## 1月

厚生年金婦人部、アドナイ館、藤原節乃、勝又ツヤ子、金子克己、中里京子、野木和子、藤江静子、加藤正代、中曽根靖枝、中島成代、芹澤みさ子、御殿場教会、琴音会、赤十字奉仕団、市婦連福祉グループ、なでしこ会、降生会（鈴木先生）、鈴の会、木内悠貴、佐藤峰子

## 2月

アドナイ館、藤原節乃、金子克己、勝又ツヤ子、野木和子、芹澤みさ子、藤江静子、木内悠貴、印野はさまの会、ビューティーサロンヤマダ、厚生年金婦人部、加藤正代、中曽根靖枝、御殿場教会、市婦連福祉グループ、赤十字奉仕団

## 3月

藤原節乃、野木和子、藤江静子、勝又ツヤ子、中里京子、厚生年金婦人部、赤十字奉仕団、金子克己、御殿場教会

## ボランティア紹介

## フルート演奏ボランティア

フルーティスト 木内悠貴



## 社会的包摂 ソーシャル・インクルージョン

御殿場出身のフルーティストです。ドイツで勉強し、エジプト文化省カイロ歌劇場に副首席フルート奏者として所属後に帰国。現在は国内外で後進の教育活動に力を注いでいます。

数年前のことになります。社会的包摂について触れる機会がありました。社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）というのは「社会的排除」の反対の考え方です。社会的に弱い立場の人々、高齢者や障がい者、職業や性と言った様々な要因により格差や不平等に遭遇している方たちを孤立させず、地域社会の一員として取り込み、共に支え合いましようという考え方です。僕はそういった活動に音楽を道具として共に歌い、共に奏で、共に楽しみ生きていくことに貢献

していきたくと思っています。

音楽は、絵画や彫刻等と同じく文化の項目に分類されます。文化の反意語は文明。コロナ問題は「文明の危機」と報じられました。文明と文化は表裏一体の対を成します。文明は荒野を切り開き、文化は開かれた大地に潤いを与えます。隅々にまで水を通し浸透させるためには長い時と多くの人々の理解・協力が必要です。



右上段フルート奏者が木内悠貴氏

です。ドイツ文化大臣が先日こう述べました。「文化は良い時のみに与えられる贅沢ではありません。」と。

ただ、ゼロの状態から社会的包摂活動を行うのは難しく、現在「すべての人に音楽を」をモットーに個人で活動しています。地盤作りとしてこれがうまく軌道に乗った暁にはマイノリティやマジョリティに関係なく文化活動を楽しめる場面を作り出すことに尽力していきたいです。一人では難しいので協力してください。ぜひご連絡を。

## あとがき

今回テレワークをご案内しました。早い話がテレビ電話。昔は空想の品。今は貴方のiPhone・Androidで使えます。ふと思うと未だ架空の存在はH.G.ウエルズのタイムマシン。スター・トレックに登場する転送（瞬間物質転送装置…もっと簡単に言うとドラえものの「どこでもドア」と光速を超える宇宙船エンタープライズ号（私はD型が好きなのですが）の三つくらいで新たな創造物が出てこない。人が夢と創造を無くしたのか。ただ現実な事は人に寄り添えないモノは生まれにくいし生き残れない。貴方の傍らにこの機関誌が何気なく居てくれることを願います。（やまもと）

